

テーマ型共創フロント 募集シート

■提案の募集内容について

| 募集テーマ | 子どもが図書館へ来たくなるコンテンツの作成に関する提案 | | | | | | | | | | | | |
|--|--|-------------------------|------------|------------|---------------------|-------------------------|-------------------------|------|-------------|-------------|-------------------------|------------------|---|
| 提案の募集対象 (テーマに関連する 事業等の概要) | <p>子どもの成長過程において、想像力や創造力を養うことはとても大切であり、本との出会いから、様々なことを学ぶことができると言われています。本と出会う場所として、図書館をより多くの子どもたちとその保護者の方にご利用いただきたいと考えています。</p> <p>そこで、横浜市では概ね乳幼児から小・中学生の子どもたちが、自分から図書館に足を運ぶきっかけとなるような、新たなツールやコンテンツの作成を検討しています。</p> <p>本と出会う場所として、図書館を、より多くの子どもたちとその保護者の方にご利用いただくよう、新たな発想や今までにない視点での、新たなツールやコンテンツの提案を募ります。</p> <p style="text-align: center;">【子どもの図書館利用状況 (R5年度)】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 35%;">0～15歳の利用状況</th> <th style="width: 35%;">15歳以上の利用状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登録者数 (うち、新規登録者数)</td> <td style="text-align: center;">114,055 人 (11,499 人)</td> <td style="text-align: center;">624,630 人 (41,215 人)</td> </tr> <tr> <td>貸出冊数</td> <td style="text-align: center;">3,952,832 冊</td> <td style="text-align: center;">7,172,457 冊</td> </tr> <tr> <td>子ども向けおはなし会 開催回数/参加人数</td> <td style="text-align: center;">1,663 回/25,707 人</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> </tbody> </table> | | 0～15歳の利用状況 | 15歳以上の利用状況 | 登録者数 (うち、新規登録者数) | 114,055 人 (11,499 人) | 624,630 人 (41,215 人) | 貸出冊数 | 3,952,832 冊 | 7,172,457 冊 | 子ども向けおはなし会 開催回数/参加人数 | 1,663 回/25,707 人 | — |
| | 0～15歳の利用状況 | 15歳以上の利用状況 | | | | | | | | | | | |
| 登録者数 (うち、新規登録者数) | 114,055 人 (11,499 人) | 624,630 人 (41,215 人) | | | | | | | | | | | |
| 貸出冊数 | 3,952,832 冊 | 7,172,457 冊 | | | | | | | | | | | |
| 子ども向けおはなし会 開催回数/参加人数 | 1,663 回/25,707 人 | — | | | | | | | | | | | |
| 提案を募集する 背景・課題 | <p>① 課題</p> <p>(1) 図書館の登録者が横浜市の人口の約2割にとどまっている</p> <p>(2) 1日のうち読書を「まったく、またはほとんどしていない」小中学生が増加している (「第二次横浜市民読書活動推進計画」によると、平成30年度の不読率は37%)</p> <p>② 背景</p> <p>(1) 令和6年3月に横浜市図書館ビジョンが策定され、基本方針の一つとして「未来を担うこどもたちのための図書館」が示された</p> <p>(2) 中央図書館1階を、親子連れや子どもたちが楽しく学べる居心地の良い「のげやまこども図書館」としてリニューアルを予定 (「親子フロア令和7年オープン」)</p> | | | | | | | | | | | | |
| 課題によって ①誰が ② どう困るのか | <p>① 子ども及びその保護者等</p> <p>② 子どもが利用しやすいサービスが整備されていないと、図書館へ来館して読書に親しむ機会が得られにくくなる。読書活動は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」において、「子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものである」とうたわれている。</p> | | | | | | | | | | | | |
| 課題に対して横浜市 が現在どう関わっているのか | 子ども向けの読み聞かせ、ブックリストの作成・提供、季節ごとのイベントなどを全館で行っています。まだ、オンラインでの絵本の紹介などを提供しています。 | | | | | | | | | | | | |
| 募集対象 ※チェックのついたもの | <p>■ 公民連携の提案及び連携事業者の募集</p> <p>⇒テーマに関する公民連携の提案・アイデア及び連携事業者の両者を募集するものです。</p> | | | | | | | | | | | | |

| | |
|----------------|--|
| が、今回の募集の対象です | <input type="checkbox"/> 公民連携の提案のみの募集 ⇒横浜市が今後の事業等の方針や仕様を定めるために、テーマに関する公民連携の提案・アイデア等のみを募集するものであり、連携事業者を募集するものではありません。 |
| 横浜市が希望する提案について | ① 子どもの来館促進や読書習慣の定着につながるようなツールの提案 ② 子どもやその保護者が、図書館からのおすすめ本情報を受け取れたり、好きな本が探しやすいようなサービス・コンテンツの提案 |
| 想定する提案の例 | ① 図書館の来館記録（来館やイベントごとに、スタンプを押したりシールを貼ったりできる）や読書記録がどちらも残せるような「図書館パスポート」 ② 紙芝居等の判型の大きな本を借りる際に、入れて持ち帰れるような袋 ③ 図書館のおすすめ絵本が紹介できるようなオンラインコンテンツ等 |

■提案にあたっての条件

| | |
|---|--|
| 募集期間 | 随時 |
| 実施予定時期 | 随時 ※提案内容について、横浜市と対話を行っていただきます。そのうち、実現可能な提案について実施に向けた調整を行います。 |
| 提案の形式 | 様式3の【提案シート】をご提出ください。 ※提案シートの他、企画書や関連資料の添付も可です |
| 提案の選定方法 ※チェックのある方法で選定します | <input checked="" type="checkbox"/> 特に選定をしません（提案内容が妥当であれば採用数を絞込まない） <input type="checkbox"/> 審査等による選定等を実施（提案内容等を審査・選定し採用数を絞込む） <input type="checkbox"/> 提案を参考に、あらためて実施事業者の公募等を実施 <input type="checkbox"/> その他（ ） |
| 横浜市から提供できるメリット | ① 図書館を利用する子ども及びその保護者に、官民協働の取組や製品を紹介することができます。場合によっては企業の広告や事業案内等を掲載することも可能です。 ※参考データ（令和5年度） 年間入館者数：中央図書館約 64 万人、全 18 館合計約 600 万人 図書館ホームページアクセス件数：約 683 万件 ② 横浜市立図書館で、製品を使用したイベントを実施したり、官民協働の取組や製品を紹介したりできます。 ③ 事業の広報媒体（チラシ、WEB サイト、SNS 等）等で協力企業として紹介します。 ④ 本取組にご協力いただくことで、地域貢献に対する取組姿勢・理念等を市民に広く伝えることができます。 |
| 横浜市の予算措置の可能性 | いただいた事業提案に従い別途相談 |
| その他の留意点 | 本事業への協力については、横浜市と協議の上、行います。 |
| 提案のお申込み先・内容についての お問い合わせ先 (事業所管部署) | 横浜市教育委員会事務局 中央図書館 企画運営課 〒220-0032 横浜市西区老松町 1 TEL 045-262-7334 FAX 045-262-0052 E-mail ky-libkiun@city.yokohama.lg.jp |